

強く 正しく 優しく

平成 30 年 7 月 20 日

立花中だより

校長 尾知山光郎

いのちとこころの講演会

6月29日(金)3年生を対象に、いのちとこころの講演会を行いました。今年も、ウィメンズクリニック横田の横田院長に来ていただき、性の問題について講演していただきました。

一学期の振り返り ～個人懇談等の活用を～

一学期を振り返ることで今後の生活を改善したり、取組を強化したりするために、7月11日から期末懇談を行いました。保護者の皆様には、時間をとっていただき、猛暑の中ご来校いただき感謝申し上げます。3年生には全市学力調査の結果と対策に関する資料を配付します。夏休みの復習に活用してください。

市・阪神中学校総合体育大会結果 3競技6名が県大会出場

中学校総合体育大会(中総体)と吹奏楽コンクールに向けて「壮行会」を6月25日の全校朝礼後に行いました。6月30日に中総体が始まり、大雨警報の影響で、7月12日までに市大会が、7月14日から16日までの3日間に阪神地区大会が行われました。上位入賞は次のとおりでした。

陸上競技 阪神・(男子) 共通1500m 4位 ・3000m 6位 山下慶馬【県大会出場】

共通400m 7位 ・共通800m 8位 嘉勢悠夏

(女子) 共通走幅跳 3位 中田優希【県大会出場】

水泳競技 市・(男子) 50m自由形 2位 窪野翔太 ・ 3位 今井奏良

100mバタフライ 3位 安里大翔

4×100m自由形リレー 3位 丸山・佐藤・今井・窪野

(女子) 400m自由形 中野陽菜(2位)

4×100m自由形リレー 3位 亀田・中野・皐月・溝口

阪神・(男子) 200mバタフライ 8位 安里大翔【県大会出場】

(女子) 400m自由形 8位 ・個人メドレー 7位 中野陽菜【県大会出場】

体操競技 阪神・(男子) 松岡航大(ゆか1位、鉄棒3位、跳馬4位、個人総合3位)【県大会出場】

阪神・(女子) 橋本雛子(ゆか5位、個人総合9位)【県大会出場】

バスケットボール(男子) 市・準優勝、阪神・3位

「全校朝礼での校長講話の振り返りシート」から

前号で紹介した、学力(「聞く力・考える力・書く力」)向上対策の一つ「全校朝礼での校長講話の振り返りシート」に書かれた、生徒が付けた題名や生徒の考え・思いの一部を紹介します。

5月1日 「振り返りシート」「校長先生の教え～考えて聴き、先を見通す～」 「未来の自分にむけて」

私は小学校の朝会の時、正直、校長先生の話や先生の話はどうでもいいと思っていた。でも今日の話で校長先生の話「聞いて」「理解する」ことがどれだけ大切なのかが良く分かった。これからはめんどくさいと思わず、しっかり話を「聞いて」「理解」できるようにになりたい。(1年)

今日、校長先生がした話は大きく分けて2つあったと思います。私はそのうちの一つ、「聞く」という話題の話に着目しました。先生の話は「聞く」のではなく「聴く」だと思いました。漢字を見れば分かるように、「耳」と「心」。それと「目」で話を聴きたいと思いました。理由は、私は大切な話は、耳だけで聞くのではなく、耳と心と目でしっかりと理解して聴くものだと思うからです。人の話をしっかりとよく聴いて、心で感じ、自分の意見を述べられるようにしたいです。(1年)

理解する力を私は大切だと思う。国語の文章題、数学の文章題でも、もちろん大切なことだが、それよりも人と関わるうえで、相手の話を理解し、相手の気持ちを理解することの方が大切だと思う。私は1年間、校長先生の講話を聞いてその分色々な知識を知ることができた。しかし、もう2年目だ。私は今年はずっとたくさんの知識をえて、しっかりとその話を理解できるように頑張りたい。(2年)

話を聞いて内容をまとめていくのは、自分にとってとても力になっていると思いました。また、人の話をしっかりと聞き理解するというのは、コミュニケーション能力をあげる事が出来、社会でも役に立つと思うので、ぜひ理解していきたいと思いました。(3年)

今日の校長先生のお話を聞いて題名を自分で考えて決めるという事はとても大切だと思いました。私が本を読んだり映画を見たりする時、確かに校長先生がおっしゃっていたように題名で決めているなど振り返ってみて思いました。私もこれから人をひきつけられるような素晴らしい題名を考えて、題名だけでストーリーの想像や伝わる事がまとまるような題名にしたいと強く思いました。他にも普段の色々な感想を書く時にしっかりと内容をまとめて、まず自分で題名から考えてみようと思いました。(3年)

6月4日 「体育大会に向けて～正しい表現のあり方～」 「体と心」「“体”はなにを伝えられるか」

体育大会は自分の気持ちを表現するイベントだと思います。ただ走っているというよりも、前の人に必死においつこうとする真剣な顔で走っているのとは、周りの人からは気持ちの感じ方は違うと思います。また、見ているみんなの気持ちを変えることもできると思います。なので、体育大会で表現する力を身に付けたいです。(1年)

心がしんどくなった時、言葉であらわす人や体であらわす人など色々ありますが、校長先生もおっしゃっていた五月病というような時が私にもあったけど、色んな人にたすけてもらい、なおすことができました。私の友達とかでも心がしんどそうな子とかが助けられるようにしたいです。(2年)

校長先生のおっしゃっていたように、誰かの悪口を聞いて自分の心のバランスをとる心の弱い人に、私は会った事があるし、私のことをかかれたこともあります。その友達は怖いので私には何も言えませんでした。でも、これから、もっと多くの人の悪口を聞いてしまうのではないかとその友達が心配ですし、悪口を書かれた人にも嫌な思いをしてしまうのでは…と思うので、次見かける前に勇気をもって注意しようと思いました。(3年)

一学期終業式式辞の要旨より

私(校長)から夏休みの宿題。「いのち(生命・時間)を大切に、自分の課題にチャレンジする」。体調を整え、活動をコントロールしよう。人生が一度しかない、「今年の夏休み」も一回しかない。中学生時代には、自分で自分の将来・進路について考えることが大切。全員に出る課題以外に自分だけの課題を見つけ、目標を立ててチャレンジしよう。苦手なこと、これまでできなかったことのやり直しに対する「再チャレンジ」と、得意なことや一番をめざすことに対する「ハイチャレンジ」がある。